

広報 しばた 12

2015.
since 1961 No.650



地域おこし協力隊活動中

都市部に住む若者に柴田町へ移り住んでもらい、地域づくり活動を支援してもらう「地域おこし協力隊」。11月から鈴木香織さん(26)が地域おこし協力隊に任命され、これから1年間活動していきます。

自治功労者・町政功労者

33人・3事業所を表彰



町政の振興・発展に貢献された方を表彰する「平成27年度自治功労者・町政功労者表彰式」が、11月13日(金)に槻木生涯学習センターを会場に行われました。式典では、町長から個人や団体、事業所に感謝状が贈られました。表彰を受けられた方は、次のとおりです。(敬称略・順不同)

叙勲受章者(披露)

【瑞宝小綬章】文部行政事務功
勞

高橋 勇治

(西船迫4丁目)

【瑞宝双光章】更生保護功勞

加茂 紀代子

(船岡南1丁目)

【瑞宝単光章】技能検定功勞

浅野 義昭

(上名生字新大原)

【瑞宝単光章】消防功勞

笠松 忠一

(下名生字町屋敷)

【瑞宝単光章】防衛功勞

大塚 敏雄

(上名生字新大原)

【瑞宝単光章】防衛功勞

栗原 敏勝

(西船迫4丁目)

【瑞宝双光章】教育功勞

加藤 武司

(槻木白幡2丁目)

自治功労者

【多年にわたり障害児就学指導審議会委員として教育行政に尽力】

保科 正信

(白石市斎川字笠松)

【多年にわたり民生児童委員として民生の安定に貢献】

桂川 クメ

(船岡東4丁目)

瀬野尾 孝子

(船岡西2丁目)

平間 壽子

(船岡土手内1丁目)

【多額の寄附により保健衛生の向上に貢献】

玉淵 均

(槻木上町1丁目)

【多年にわたり防犯実働隊員として防犯活動に尽力】

金野 もと子

(西船迫4丁目)

【多年にわたり消防団員として消防防災に尽力】

氣仙 喜三男

(船岡中央3丁目)

富澤 謙一

(中名生字六角前)

長谷 宏志

(槻木西1丁目)

佐藤 清和

(槻木西2丁目)

高橋 恵一

(入間田字内ノ馬場)

佐々木 達文

(葉坂字白坂)

平間 明壽

(葉坂字竹ノ内)

平間 康彦

(葉坂字南東)

山家 武雄

(成田字倉元)

安藤 薫

(本船迫字上町)

大沼 耕一

(船迫字荒屋敷)

町政功労者

■地方自治の振興に貢献

【役場庁舎へ来庁者用応接セットを寄贈】

佐藤総業株式会社

(船岡字清住町)

■産業開発、経済の振興及び

観光の開発に貢献

【桜まつりライトアップ用LED照明を寄贈】

笠松電気株式会社

(船岡東4丁目)

■教育・文化の振興に貢献

【船岡小学校へ「小学生用サッカーゴール」を寄贈】

武田 智之

(下名生字上納)

【多年にわたり野球審判団役員としてスポーツ振興に貢献】

佐久間 碩哉

(船岡東2丁目)

■民生の安定に貢献

【社会福祉資金として多額の金員を寄附】

関 正忠

(船岡字新生町)

加茂 將立

(槻木下町2丁目)

平間 サトミ

(船岡東2丁目)

【敬老祝品として物品を寄贈】

株式会社メガネの相沢

(仙台市青葉区)

■保健衛生の向上に貢献

【多年にわたり町環境美化実践委員として環境維持に貢献】

伊藤 京子

(船岡南1丁目)

【多年にわたり町医として保健衛生思想の向上と健康保持増進に貢献】

吉田 鐘一

(船岡南1丁目)

芳賀 るり子

(西船迫1丁目)

【多年にわたり健康推進員として健康増進に貢献】

齋藤 きよゑ

(船岡東1丁目)

村上 淑子

(槻木下町3丁目)

本多 弘美

(船岡東3丁目)

今野 カツ子

(船岡土手内1丁目)

後藤 久美

(北船岡2丁目)

渡邊 百合子

(槻木字館前)

■調査・統計の向上に貢献

【多年にわたり統計調査員として調査、統計の向上に貢献】

及川 貞夫

(西船迫1丁目)

佐々木 和子

(西船迫3丁目)

平成27年

文化の日表彰

○地方自治功労

【多年にわたる議員活動を通じて、地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力】

平間 昭一郎

(入間田字迫)

○教育文化功労

【多年にわたり町内の民話や口碑伝承を元に青少年に対する文化の伝承に努め、社会教育の振興に寄与】

柴田かたりへの会

(西船迫3丁目)

○調査統計功労

【多年にわたり統計調査員として、各種統計調査に尽力し、調査統計の普及、改善に寄与】

及川 貞夫

(西船迫1丁目)



第5回 柴田町

子ども

フェスティバル

2015年

みんな楽しく
遊びました!

11月15日(日)、農村環境改善センターで「柴田町子どもフェスティバル」が開催されました。柴田町子ども会育成会連絡協議会が主催したイベントで、今回で5回目。町内6地区から12の子ども会などが参加し、地域の垣根を越えて子ども同士が交流しました。

地区ごとに設けられた“遊びの出店”は、子どもたち自身が準備物を作り、店番もしました。また、保護者も一緒に楽しみ、地域全体で子どもを育てていく意識が高まったようです。

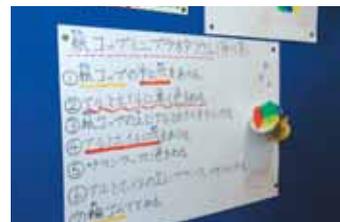
子どもたちの笑顔をご覧ください。





ちさと
遠藤千里さん
(西住小学校6年生)

景品などを一生懸命作りました。
接客できるように練習もしてきました。
不安だったけど、たくさんお客さんが
来てくれたのでうれしかったです。
子ども会の思い出になりました。



西住地区「ボールin傘」
●西住親子会



槻木地区「パラボラ紙とんぼとシューター」
●白幡子ども会 ●四日市場沖子ども会 ●四日市場山根子ども会



船岡地区「ビー玉落としゲーム」
●原町子ども会 ●土手内子ども会 ●さくら子ども会



(仮称)柴田町総合体育館基本構想について

問 スポーツ振興課 TEL55-2030

特集2

平成26年度から、町体育協会や文化協会との意見交換会や体育館利用者へのアンケートなどを実施し、(仮称)柴田町総合体育館基本構想を策定しました。この基本構想などについて説明します。

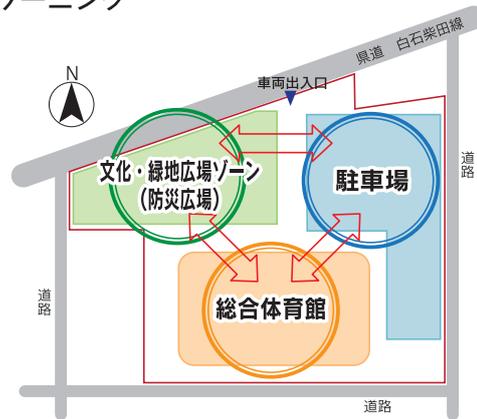
○建設計画地について

(株)不二トックン工場跡地（船岡字上大原）に建設を計画している総合体育館は、町のスポーツ施設の拠点として、県ヒルズ県南総合プールや町総合運動場と連携を図ります。

建設計画地と町内スポーツ施設の位置関係



ゾーニング



○(仮称)柴田町総合体育館基本方針

3つの基本方針を定め、町民にとって魅力のある体育館になるようにしています。

【基本方針1】町民が生涯現役でスポーツを楽しめる体育館

(1) 「するスポーツ」

- ①アリーナ 約2,000㎡（長さ）50.0m×（幅）40.0m 例）バスケットボールコート2面、6人制バレーボールコート3面
※防球ネットで、2分割または3分割で仕切ることができる。 ②多目的運動場 約450㎡（長さ）30.0m×（幅）15.0m 例）軽運動場、柔道・剣道・空手道の練習場 ③トレーニングルーム 約200㎡ ④ランニングコース

(2) 「みるスポーツ」 観覧席数は圏域、町民大会規模を想定しました。

- ①参加する選手や家族、友人が競技を観戦・応援できる観覧席（500～600席）を設置。選手が観覧席から競技場へスムーズに昇降できるようにします。 ②トイレ、ロッカールーム（特に女性に配慮した）の十分な設備と設置数 例）シャワー室、広くゆとりのあるトイレ、パウダールーム、授乳室 ③大会運営に必要な役員室、会議室を設置

(3) 支えるスポーツ

- ①講習会などを開催できる会議室（約60㎡）

(4) 総合型地域スポーツクラブの活動拠点

- ①事務室 ②ミーティングルーム、サロン室 ③リハーサル室、多目的運動場、トレーニングルーム、ランニングコース アリーナを大会などで使用していても、いつでも個人利用者を受け入れることができます。

【基本方針2】安心・安全な機能を備えた体育館

(1) 災害時の避難拠点となる体育館

- ①耐震強度の高い施設 ②非常用自家発電設備を備えた施設 ③緊急時に飲料水を確保するため屋外受水槽を設ける ④救護室や各部屋の間仕切り機能を備えた施設

【基本方針3】文化的事業・イベントに使用できる体育館

- (1) ステージ（移動式）、照明 (2) 音響設備

○総合体育館の規模と資金計画などの概要

町ではメインアリーナなどの規模に応じた3つの建設案を10月から11月に町内6カ所で開催された、まちづくり住民懇談会などで説明しました。

A案 バスケットボールコート3面 メインアリーナ75m×40m (≒3,000㎡)	B案 バスケットボールコート2面 メインアリーナ50m×40m (≒2,000㎡)	C案 バスケットボールコート2面 メインアリーナ47m×36m (≒1,692㎡)
 <p>例)仙台大学第5体育館(2,536㎡)</p>	 <p>例)岩沼市 岩沼ビッグアリーナ(2,066㎡)</p>	 <p>例)大河原町 はねっこアリーナ(1,530㎡)</p>
<p>総面積：9,173㎡ 総事業費：47億5,911万円 財源内訳： 町：11億3,691万円 町債(借金)：34億1,050万円 補助金：2億1,170万円 年間返済額：2億1,865万円</p>	<p>総面積：7,265㎡ 総事業費：38億9,438万円 財源内訳： 町：9億2,108万円 町債(借金)：27億6,160万円 補助金：2億1,170万円 年間返済額：1億7,705万円</p>	<p>総面積：5,120㎡ 総事業費：29億3,637万円 財源内訳： 町：6億8,117万円 町債(借金)：20億4,350万円 補助金：2億1,170万円 年間返済額：1億3,101万円</p>
<p>計画 平成34年度以降 基礎調査 平成35年度以降 基本設計(着手) 平成36年度以降 実施設計・着工 平成37年度以降 完成</p>	<p>計画 平成31年度以降 基礎調査 平成32年度以降 基本設計(着手) 平成33年度以降 実施設計・着工 平成34年度以降 完成</p>	<p>計画 平成28年度以降 基礎調査 平成29年度以降 基本設計(着手) 平成30年度以降 実施設計・着工 平成31年度以降 完成</p>
<p>(メリット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大規模な大会やイベントになどに対応できる ●客席：約1,000席 ●周回できるランニングコース設置 ●各種スポーツの安全エリアを確保 <p>(デメリット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建設費および維持費の増加 ●周辺住宅地などへの圧迫感や日陰の影響などがある 	<p>(メリット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ステージがないことで更衣室関連スペースが充実 ●客席：約624席 ●直線のランニングコース設置 ●各種スポーツの安全エリアを確保 ●2階席は周回できる 	<p>(メリット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ大会、イベントに対応可能な空間としている ●客席：約550席 ●直線のランニングコース設置 <p>(デメリット)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他の案に比べ、各部屋のスペースが小さい
<p>3案共通のメリット ●各種スポーツや催事に対応できる器具庫を設置</p> <p>3案共通のデメリット ●固定ステージがないので、ステージを利用したイベント、講演ができない ●ステージを使用する場合、仮設ステージになる</p>		

○これからの動き

総合体育館は、いつでも、どこでも、誰でも、スポーツを楽しめることのできる施設です。また、今年3月に設立した総合型地域スポーツクラブの活動拠点としても計画されています。

今後体育協会やスポーツ関係団体などでは、まちづくり住民懇談会で町民の皆さんからいただいた意見を取り入れ、役員の中で話し合っ、施設内の設備内容の要望を聞く機会を設ける予定でいます。そして、来年3月までには、ABCそれぞれの案のうち、どの案の規模で建設するのかの意思決定を行います。決定したときは、町民の皆さんへお知らせします。

職員給与と定員管理について公表します

「柴田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、町職員の給与および職員数などについてお知らせします。
 職員給与については、国の人事院勧告や県人事委員会勧告を参考に、町議会の審議を経て、条例などにより定めることになっております。

①人件費の状況（平成26年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 平成27.3.31現在	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成25年度の人件費率
人 38,324	万円 132億2,595	万円 1億278	万円 23億5,292	% 17.8	% 19.0

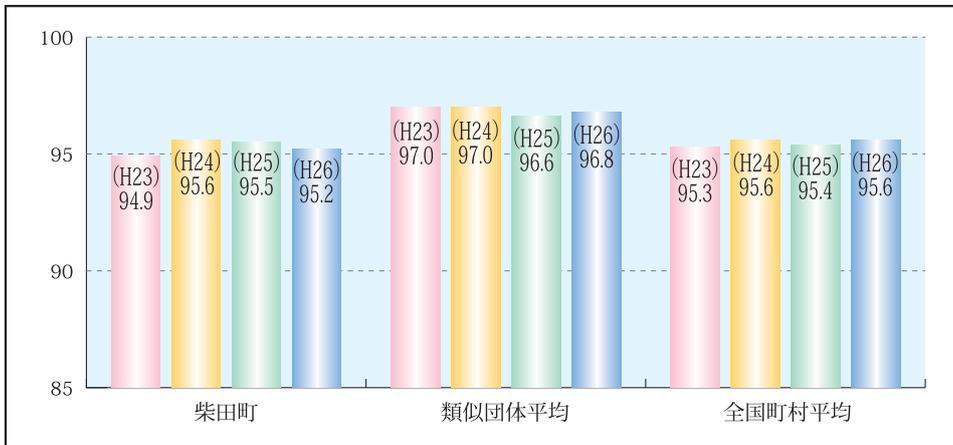
(注) 人件費とは、一般職、特別職に支給される給与、共済負担金、退職手当負担金、災害補償費などをいいます。

②職員給与費の状況（平成26年度普通会計決算）

職員数 A	給与費				1人当たり給与費 B/A
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
人 271	万円 10億602	万円 1億2,191	万円 3億6,874	万円 14億9,667	万円 552

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
 2 職員数は、平成26年4月1日現在の人数です。

③ラスパイレース指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレース指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレース指数を単純平均したものです。

④職員の平均年齢、平均給料月額状況（平成27年4月1日現在）

区分	一般行政職		技能労務職	
	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額
柴田町	44.5歳	318,992円	53.0歳	293,933円
宮城県	42.3歳	323,015円	51.8歳	328,544円
国	43.5歳	334,283円	50.2歳	289,141円

⑤期末・勤勉手当の状況（平成26年度支給割合）

区分	支給割合	
柴田町	期末手当	2.60月分
	勤勉手当	1.50月分

(注) 職制上の段階、職務の級などによる加算措置があります。

⑥職員の初任給の状況（平成27年4月1日現在）

区分	一般行政職		技能労務職	
	大卒程度	高卒程度	高卒程度	中卒程度
柴田町	174,200円	142,100円	139,500円	123,900円
宮城県	180,800円	146,500円	144,200円	127,700円
国	174,200円	142,100円		

※町職員の給与や勤務条件・職員数の詳しい内容および人事行政の運営などの状況については、町ホームページでご覧になれます。

Eメール: general-affairs@town.shibata.miyagi.jp

総務課秘書職員班

☎5512111

問い合わせ

⑦退職手当の状況（平成27年4月1日現在）

区 分		勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額	1人当たり平均支給額
柴田町	自己都合	20.445月分	29.145月分	41.325月分	49.59月分	2,126万円
	勤奨・定年	25.55625月分	34.5825月分	49.59月分	49.59月分	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成26年度に退職した職員に支給された平均額です。

⑧特別職の報酬などの状況（平成27年4月1日現在）

区 分	給 料		報 酬		
	町 長	副町長	議 長	副議長	議 員
報酬などの月額	904,000円	700,000円	387,000円	329,000円	313,000円
期末手当	2.95月分（平成26年度支給割合）				

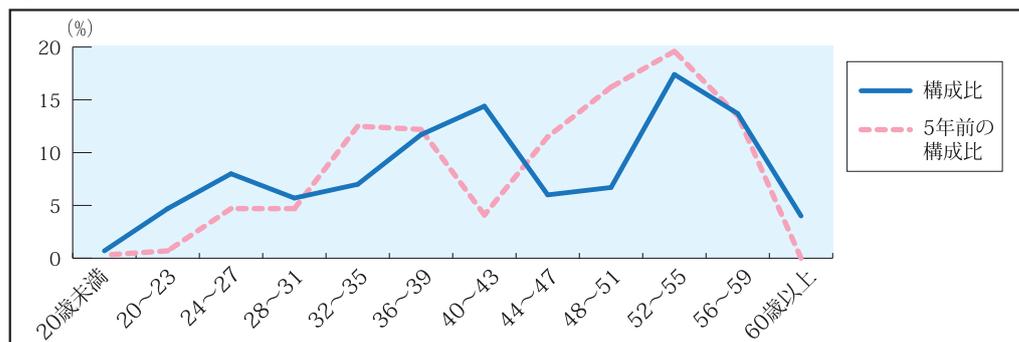
⑨部門別職員数の増減状況（各年4月1日現在）

区分	部門	一 般 行 政 職								
		議会	総務	税務	農林水産	商工	土木	民生	衛生	小 計
職員数	平成27年	4	56	15	11	6	23	90	20	225
	平成26年	4	56	16	11	6	22	84	21	220
	対前年増減数			△1			1	6	△1	5

区分	部門	特別行政		公営企業等会計				総合計
		教育	小計	水道	下水道	その他	小計	
職員数	平成27年	47	47	5	6	14	25	297
	平成26年	46	46	8	6	14	28	294
	対前年増減数	1	1	△3			△3	3

(注) 職員数は、一般職に属する職員数です（教育長を含み、自治法派遣職員を除きます）。

⑩年齢別職員構成の状況（平成27年4月1日現在）



⑪一般行政職の級別職員数などの状況（平成27年4月1日現在）

構成比	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
平成27年の構成比	16.5%	7.1%	23.5%	12.4%	27.6%	9.4%	3.5%
1年前の構成比	12.8%	6.4%	26.7%	11.0%	29.7%	9.9%	3.5%
5年前の構成比	4.6%	6.9%	27.0%	22.4%	26.4%	12.7%	

(注) 教育長を除き、自治法派遣職員を含みます。



1年を振り返れば、今年ぐらゐ公共事業が順調に推移した年はありませんでした。

3月には、待望久しいしばた千桜橋や里山ガーデンハウスが完成し、8月には、槻木小学校のプールではしゃぐ子どもたちの笑顔を見ることができました。継続事業としては、富沢16号線の道路整備、鷺沼排水路整備、二本杉町営住宅3号棟、そして、船迫小学校のプール建設があります。

町にとって公共事業への投資は、安全で快適な生活環境の整備や魅力あふれる都市空間を形成するために必要なだけでなく、地域経済を活性化させるためにも有効です。本来であれば、もっと多くの税金を投入して住民からの苦情や要望に応えたいと思っっているのですが、残念ながら私の力だけでは限界があるのも事実です。

その理由は、町の予算のうち、私が自由に判断し動かせるお金は4割しかないことです。あとの6割は国や県の補助金さらには、借金に頼らざるを得ないので、「早く道路整備や冠水対策を実施して欲しい」「隣の町より人口が多いのに、

なぜ総合体育館がすぐにできないのか」とお叱りをいただくのですが、このような大きな事業は国や県から事業採択を受けないと前に進められないのです。これが三割自治と言われる地方自治体の悲しい現実なのです。それ故、各首長は公共事業予算の獲得に向けて奔走することになるわけです。

こうした地方のやむにやまれぬ要望・陳情活動に冷水を浴びせるかのように、「人口が減少する地方への公共投資はムダが多く、景気浮揚効果も望めない」との批判も多くなっています。私からすれば、こうした批判は高度な都市機能が整備され、快適に毎日を過ごせる都市側の論理ではないと思います。

地方では、東日本大震災や関東・東北豪雨による被害を踏まえた防災への投資がまだまだ十分ではありません。さらに、道路・側溝・下水道・公園といった暮らしに密着した身近な社会資本整備も遅れたままです。国は都市と地方の格差を是正し、国土の均衡ある発展を図る責務があります。地方が望む公共事業については、十分に予算を確保し、首長が住民の切実な要望に早く応えられるようにすべきではないかと思っています。

なぜ総合体育館がすぐにできないのか」とお叱りをいただくのですが、このような大きな事業は国や県から事業採択を受けないと前に進められないのです。これが三割自治と言われる地方自治体の悲しい現実なのです。それ故、各首長は公共事業予算の獲得に向けて奔走することになるわけです。

公共事業への投資

郷土史めぐり

遺跡のはなし

文化財保護委員 後藤彰信

人間が活動した跡が大地に残されたものを遺跡といいます。生活の痕跡が中心ですが、たき火の跡や竪穴^{たなほ}住居、水田跡、地方の役所跡など、人の活動の分野が広がるにつれて、その範囲も広がります。現在では、明治時代に西洋の技術で作られた橋や建物、第2次世界大戦の戦争関連施設までが含まれます。町には、縄文時代から江戸時代まで95力所の登録遺跡があり、歴史ある町だということを物語っています。

それでは、なぜ遺跡は「遺跡」とわかるのでしょうか。遺跡は土の中に埋もれ守られています。耕作などで地中の土器や石器が地表に現れることがあります。その範囲や地形を見て、遺跡であることを判定します。縄文時代の住居は、今でも家を建てたく

なるような、日当たりの良い南向きの緩い斜面で、水はけが良く湧き水があるところに作られています。



槻木の縄文人の生活

町内に広がる遺跡は、その時代にこの土地に人々が生きてきた証拠であり、これからも守っていかねばいけない貴重なわれわれ町民の財産なのです。



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ21

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第21回目のテーマは、「がん検診」についてです。

「がん検診」を受けよう!

日本人の死因の第1位はがんで、死亡者数は年々増加しています。しかし、診断方法や治療法の進歩により、がんの早期発見や早期治療でがんが治せるようになりました。がんはほとんど自覚症状がないまま進行します。早期発見・治療のためには、症状がなくても定期的ながん検診を受けることが大切です。柴田町でも死因の1位はがんであり、全死亡者数の約3割を占めます。

★がんは他人ごとではありません! 誰もがかかる可能性のある身近な病気です。

※生涯のうちがんに罹患するリスク

男性 60.0%
女性 44.9%



2人に1人は
がんになる時代!

(資料) がん研究振興財団
「がんの統計 14」

がん検診のメリットは?

1. 早期発見・早期治療により延命が可能になる。
2. 症状が出る前に初期がんを見つけることができる。
3. がん以外の病気やがんになる前の病変を見つけることができる。
4. 「異常なし」と判定されれば次の検診まで安心して過ごせる。



★がんは早期発見・早期治療で生存率は高まります!

胃がん・乳がんの臨床病期別5年病態相対生存率

がんの病期	I期	II期	III期	IV期
胃がん生存率	97.8%	66.7%	49.1%	7.9%
乳がん生存率	99.8%	95.2%	78.6%	30.5%

※適切な間隔で定期的に検診を受けることで、がんを発見できる確率は高まります。(資料) がん研究振興財団「がんの統計 14」

保健師からのアドバイス

検診に勝るがん対策はないと言われていています。機会を逃さず受診してください。町では毎年1月にがん検診申込書を送付しております。皆さんが自分自身の命を守り、大切なご家族の幸せを守るためにも、ぜひ忘れずに申し込みをしましょう。

また、がん予防のためには正しい生活習慣が必要です。健康的な生活を心がけましょう。

“がんを防ぐための新12か条”

1. たばこは吸わない
2. 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
3. お酒はほどほどに
4. バランスのとれた食生活を
5. 塩辛い食品は控えめに
6. 野菜や果物は不足にならないように
7. 適度に運動
8. 適切な体重維持
9. ウイルスや細菌の感染予防と治療
10. 定期的ながん検診を
11. 身体の異常に気づいたら、すぐに受診を
12. 正しいがん情報でがんを知ることから

まちかど NEWS



仙台大学生が先生になって、そり競技を説明

そり競技を身近に 芝そり大会初開催

秋の芝そり大会が11月7日（土）、柴田町太陽の村で開かれました。そり競技に関心を持ってもらおうと仙台大学ポブスレー・リユージュ・スケルトン部が初めて開催しました。当日は小学生約30人が参加し、笑顔が絶えない大会となりました。

参加した只埜瑞貴さん（大河原小学校6年生）は、「滑っているときに転びそうになりましたが、ゴールまで滑れてよかったです」と滑走した感想を話してくれました。



25度の急斜面を滑る只埜さん

幸せよ届け 大黒舞

NEWS

10月31日（土）、槻木生涯学習センターで2回目となる「みちのく招福まつり」が開かれました。遠くは秋田県からの参加もあり、県内外の17団体が伝統的な大黒舞やオリジナルの舞踊で来場者を魅了しました。

昨年鑑賞したという遠藤竹子さん（船岡地区）は、「今年も楽しみにしていました。今年の舞も素晴らしく、元気な気持ちになって福が自分のところにも訪れそう」と笑顔で話されました。



大黒舞を披露する祇園入社中

広 告

広 告



楽しく植栽する船迫みどりの少年団の皆さん

みんなで楽しく 館山植栽会

10月31日(土)、船岡城址公園で館山植栽会が開催されました。町内外の企業をはじめ、約200人の方が参加し、アジサイやチューリップなどを植えました。

町内企業で働いている布田真由美さん(西船迫地区)と大野明美さん(下名生地区)は、「自分たちが植えた花が咲くのが楽しみです。また、花が咲く頃に訪れてみます」と春の訪れを心待ちにしているようでした。

家族に愛され100歳 木村かつ以さん

11月10日(火)、木村かつ以さん(海老穴地区)が100歳の誕生日を迎えられました。かつ以さんは、50歳ごろまで中学校の先生をされてきました。息子さんの傳さんは、「母は小さい私を職場に連れて子守りをしていたと聞いたことがあります。いつも家族のことを思ってくれる母です。今は家族みんなで親孝行をしています」とエピソードを交えて感謝の気持ちを語ってくれました。



かつ以さんと傳さん親子



仙台大学生が植えたパンジーがきれいに並んでいます。

沿道に花を 船岡さくら商店会

10月28日(水)、船岡駅周辺の企業や商店で構成する船岡さくら商店会が仙台大学生と共に環境整備活動を行いました。参加した皆さんはプランターに花植えをしたり、ごみ拾いをしたりしました。仙台大学4年生の関畑希さんと西川まみさんは、「毎朝、商店会の皆さんとあいさつを交わします。植えた花を見た人が心を和ませ、商店会がにぎわってくれるとうれしいです」と話してくれました。

広 告

広 告

町の産業を楽しく知る 「しばた産業フェスティバル」

NEWS

船岡小学校で11月8日(日)、しばた産業フェスティバルと環境フェアが開催されました。グラウンドには、農商工ふれあい市や出店が設けられました。雨の中700人が来場し、普段あまり接する機会のない町の産業について学んでいました。

場内を巡っていた橋爪恵美さんと光菜さん(船岡小学校2年生)親子は、「柴田町の産業を、楽しみながら身近に感じることができま



丸太切り体験を楽しむ橋爪さん親子



握手を交わす東浦町の栗原(くわはら)副町長(左)と滝口町長

災害時における相互応援

NEWS

11月9日(月)、町と愛知県東浦町は災害時に生活必需品や食糧などの提供、被災者の一時受け入れを行う災害時相互応援協定を締結しました。

町では、全国さくらサミットの参加自治体や北海道・東北地方の自治体とすでに同様の協定を締結していますが、遠方に位置し想定される災害の種類が異なる東浦町とこの協定を結ぶことで、相互に必要な援助ができることが期待されています。

チーム一丸で優勝 仙台大学柔道塾

NEWS

10月25日(日)、県武道館で第38回宮城県スポーツ少年団柔道交流大会が開かれました。この大会に仙台大学柔道塾が出場し、小学生団体の部で優勝しました。また、県代表として東北大会への出場権を獲得しています。11月5日(木)には、役場を訪れ町長へ優勝を報告しました。

出場した太田晴仁さん(写真中央・船岡小学校6年生)は、「メンバーと力を合わせて優勝でき、嬉しいです」と笑顔を見せてくれました。



優勝した団体戦メンバー。写真左から後坊蒼斗さん、大谷翔真さん、太田晴仁さん、熊田従士さん、吉野琉功(るく)さん

広 告

広 告



豪華絢爛の菊人形に見入る来場者。 ※来場者数6,808人

彩り豊か みやぎ大菊花展

10月20日(火)から11月13日(金)まで、船岡城址公園で第37回宮城県大菊花展柴田大会が開かれました。来場者は、菊人形や千輪咲をはじめ、約2,300鉢の色鮮やかな菊を觀賞しました。

90歳になるお母様と訪れていた藤坂宏子さん(上名生地)は、「子育てと同じで、苦労しながら丹精込めて菊を育てたのが伝わってきます。どの菊もとてもきれいです」と感心されていました。

地域総出でにぎわいづくり 「東船岡秋祭り」



昼食はみんなで芋煮会

11月7日(土)、東船岡小学校で「東船岡秋祭り」が開催されました。この行事は、東船岡小学校の児童による模擬店のほか、地域の皆さんも新鮮な野菜などを売り、一緒に東船岡地区のお祭りを盛り上げていました。小学校3年生になるお子さんと一緒に参加した高橋真弓さん(上名生地)は、「生まれ育ったところは、学校と地域が一緒に行う催しが多かったので、東船岡秋祭りはとても良い行事だと思います」と話してくれました。



子どもからお年寄りまで出演

30回目を迎えた 「船迫小地区ふるさと文化祭」

船迫生涯学習センターで、11月7日(土)と8日(日)に30回目となる「船迫小地区ふるさと文化祭」が開催されました。生け花などの展示や陶器の販売などがあり、多くの来場者でにぎわいました。2日目は、歌唱や踊りが披露され、来場者は楽しい時間を過ごしていました。

西船迫地区の大槻正子さんは、「地域のつながりを維持するためにも、この行事を続けて欲しいです」と話してくれました。

広 告

広 告

今年の蕎麦をご賞味あれ 「しばた新そばまつり」

NEWS

11月14日(土)と15日(日)の二日間、農村レストラン「縄文の幸」で16回目となる「しばた新そばまつり」が開かれました。柴田産の十割そばと季節野菜の天ぷらが各日100食ずつ提供されました。今年のそばは、猛暑などの影響により生産量が少なく、貴重なものとなりました。親子、孫の三代で訪れていた森田頼子さん(下名生地区)は、「初めて来ました。コシがあつておいしかったです」と話してくれました。



新そばを味わう森田さん家族



会場の皆さんも一緒に身体を動かしました。

心も体もわくわく元気 介護予防推進大会

NEWS

11月14日(土)、槻木生涯学習センターで「第9回柴田町介護予防推進大会」が開催されました。ノルディックウォーキングやダンスのサークルの皆さんによる活動発表会、「運動で体力強化と認知症予防」と題した講演が行われました。船岡ダンベルの菊地とし子さん(船岡地区)は、「この大会が自分のモチベーションにつながっています。会場が一体感に包まれ、良かった」と話されました。

独居高齢者が安心して暮らせるために

NEWS

町は11月12日(木)、介護事業や燃料・食材配達事業などを手掛ける(株)ジェイエイ仙南サービスと「高齢者地域見守りネットワークに関する協定」を締結しました。65歳以上の独り暮らしの高齢者を対象とし、日常業務の中で見守り活動を行います。緊急時は、町や警察、消防などへ通報することになっています。現在、町では郵便局、河北新報、みやぎ生活協同組合と同様の協定を結んでおり、今回で4例目となりました。



協定を締結し、握手を交わす加藤社長(右)と町長

広 告

広 告

「雨乞の柚子」で調理体験



柚子をすり下ろす横山さん(写真右)

11月14日(土)、入間田地区の祇園入集会所(第23行政区)で町の特産品「雨乞の柚子」を使った調理の体験会が行われました。町内外から30人が参加。雨乞の柚子生産組合の皆さんの指導により柚子パウダーや甘露煮が出来上がり、会場内は柚子の香りに包まれました。

横山麻里菜さん(下名生地)は、「柚子を使った料理を家でも作ってみたいですよ」と柚子の魅力をあらためて知ったようです。

親睦を深めた「西住地区文化祭」



「ヨイシヨ」のかけ声で餅つき

11月14日(土)と15日(日)に西住公民館で第30行政区の主催による西住地区の文化祭が開催されました。絵画や書道などの作品展示やカラオケなどの発表会を通して、地区の皆さん同士で楽しんでいました。

第30区文化部長の長澤紘司さんは「最近では地域皆で行う行事が減っています。ぜひ、地域の皆さんには親睦を深めることのできる地域の行事にこれからも参加して欲しい」と話してくれました。

外国人をもてなすために セミナー開催



国ごとに違う外国人の接客方法など詳しく紹介された

11月12日(木)、船岡公民館で県主催による外国人観光客おもてなしセミナーが開かれました。しばた桜まつりにも多くの外国人観光客が来るようになったため、受講した町民や柴田町観光物産協会職員、町商工観光課職員らが熱心に耳を傾けました。協会職員の山本康恵さんは「勉強したことを、町のインバウンド(外国人の訪日旅行)対策にしっかり生かせるようにがんばりたい」と抱負を話してくれました。

広 告

広 告

こうほう 文芸

俳句

もみじ葉やはらりと朝の日をこぼし
 空元氣も八十路の力帰り花
 海鳥の声は疎らに初時雨
 美しく老ひて百歳小鳥来る
 夕暮れのサッカーする声秋惜しむ
 秋日和琵琶の音響く港町
 葱畑明日に根を張る光かな
 老いし父寝酒あたたため思うこと
 新走寡黙の父の笑みこぼれ
 紅葉乗せ石に体温生まれけり
 振り向けぬ別れもありて初時雨
 黄昏て八帖一間の蝨嘶
 菊日和曳かれる城の息ひそめ
 北国の里を潤すかりんの実
 芋煮会皆の笑顔と万国旗
 枯葉散る活けし花々香を残し
 紅葉と満天の星愛でる旅
 もてなしの娘の手料理舌鼓み

中野西範子
 石垣テル子
 制野 千秋
 遊佐 徹
 山家美智子
 三塚 直樹
 及川美沙子
 藤原 恪子
 若月ノリ子
 大久保和子
 佐藤きみこ
 葦神 葛
 可沼 妙子
 笠松ふみ子
 安ヶ平奈津枝
 西船迫 安ヶ平奈津枝
 船岡 安藤 節子
 西船迫 玉手みき子
 西船迫 後藤 文子

短歌

大人なら僅か数秒何故待てぬ横断歩道に学童二人
 朝六時開催告げる音花火体育の日のあちらこちらで
 ストープに溶かされながら独居の独り言云い今年も終る
 晩秋に「雨ニモマケズ」読みかえし湧きでる思い胸にせまりて
 負けまいと人生峠超える暮れ老と成長孫らに感謝し

西船迫 三澤 精一
 船岡 可沼 妙子
 大槻 信吉
 船岡 沢田 順子
 本船迫 森田 眞六

川柳

気はあせりビン立て競争ビン立たず
 黒粹ににこやか笑って時止まる
 坂道を体力作りの登り下り
 好きな絵を毎日つづけ日の目出る
 軒下に秋の楽しみ柿吊るす
 ビルの杭強度不足で住み人泣く
 わが町は櫻と花がメインです
 天高く夕日がもへるもみじかな
 真心をこめて世話する友と我
 みちのくに冷たい冬が急ぎ足
 日に三度楽ではないよ常備薬
 愛嬌は当選までのおたわむれ
 新蕎麦を別れた彼女と食べたくて

西船迫 下浦 智子
 船岡 伊藤タイ子
 西船迫 後藤 國男
 船岡 小林 夢子
 船岡 阿部美代子
 西船迫 安ヶ平良三
 北船岡 佐々木正吉
 槻木 加藤 利通
 槻木 つきのき町子
 西船迫 渡辺 晴江
 四日市場 坂本 一風
 四日市場 齋藤夢太郎
 船岡 千 舞

メタセコイアの奇跡!
光り輝け槻木駅 2015

■点灯式
12月5日(土)13:00~
 場所/JR槻木駅東口広場
 期間/12月5日(土)~平成28年1月9日(土)16:30~23:00



点灯式 **12月5日(土)17:00~**
 場所/柴田町観光物産交流館さくらの里前
 期間/12月5日(土)~27日(日)

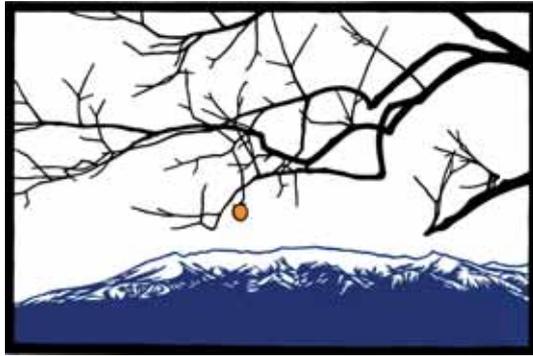
点灯時間 船岡駅前/16:30~翌日1:00
 船岡城址公園/16:30~21:00
 ※5日(土)のみ17:00から点灯

光り輝け!しばたのイルミネーション2015
 (船岡駅前・船岡城址公園)





夢空間 2015



切り絵「冬の蔵王連峰と柿」
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)



はなちゃん (ペンネーム)

smile
kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、自己表現コーナー(夢空間2016)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方は、はがきなどで12月10日(木)まで応募ください。

※応募する場合は投稿者の住所、氏名、電話番号、ペンネーム(希望者のみ)を明記してください。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

こども美術館



「丸いもの たまご」(絵)

槻木小学校2年

布田 伊吹 さん



「空を飛んだ ごんべいさん」(絵)

槻木小学校3年

櫻井 杏奈 さん



柴田町フェイスブック

<https://www.facebook.com/town.shibata>

柴田町フェイスブックは、利用登録していなくても閲覧できます。
お持ちのパソコンやスマートフォンから、インターネットに接続してご覧ください。

☎まちづくり政策課 Tel.54-2111

町の景色や
イベントなどを
紹介!



思いを胸に Vol.126

『お客様あつての仕事 快適な住環境を届けたい』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



株式会社 白石ハウピング

ライフアップ エネルギー課 **新野 聡志**さん(32歳・写真右)
 福祉住環境 コーディネーター **早坂 絵里香**さん(30歳・写真中央)
 ハウピング エンジニア課 **大津 和也**さん(27歳・写真左)



国道4号バイパス沿い、船岡字若葉町にある株式会社白石ハウピングの社屋の前に、爽やかな笑顔が並びました。右から、新野聡志さん、早坂絵里香さん、大津和也さんの3人です。

同社は、お客様の豊かな暮らしづくりをサポートすべく、多様なサービスを提供しています。今回紹介する3人も、それぞれ違う業務を担っています。新野さんは危険物取扱者として灯油などの配達を担当し、常にお客様と接しています。



いときは一日に約100軒巡回しますが、特に冬場は早く灯油を届けてあげたいですね」と優しい気持ちでハンドルを握っています。早坂さんは、より良い住まいの環境を提案するため、パソコンを駆使しリフォームなどの設計を手掛けています。「現場でお客様から喜ばれたとき、すごい達成感が湧きます。お客様の望む生活環境を実現していくことに喜びを感じています」と目を輝かせます。入社して4年目の大津さんは、上下水道などの配管工事を担当。「まだまだ一人前ではありません。現場は一箇所ごとに違うので工夫しないといけない。先輩の技術をより多く吸収し、がんばりたい」とやる気に満ち溢れています。

この3人の笑顔の裏には、それぞれが努力して習得した技術や資格、そして何よりもお客様への思いやりがあります。快適な住環境を求めたいとき、この3人に相談してみませんか。笑顔でそっと寄り添ってくれるに違いありません。

株式会社 白石ハウピング

柴田町大字船岡字若葉町 4-15 TEL 55-1457

昭和48年設立。LPガス・灯油販売やキッチン・トイレ・浴室など水回りの住宅改修などを手掛け、安全快適な生活を提案すると共に、お客様が水回りのトラブルでお困りのときには、出来るだけ早く解消したいとの思いから24時間365日、連絡が取れる体制で臨んでいます。従業員数28人。



人口と世帯数 (平成27年11月1日現在)



38,426人 (前月比27人増)



19,140人 (前月比23人増)



19,286人 (前月比4人増)



15,355世帯 (前月比4世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。